

2005年 第2回 IEEE 福岡支部理事会 Minutes

日 時：平成17年6月10日(木) 12:00～16:00

場 所：(財)九州システム情報技術研究所 (ISIT) 第1会議室

出席者：

支部役員： 二宮、宇津宮、末次、田口、生野、高良、庄山、牧之内

事務局： 川根、牛島(好)

(以上、10名)

議 題：

1. 前回議事録を承認した。(末次)(ExC-2005-2-2)
2. Region 10 Meeting報告(二宮)(ExC-2005-2-3)
二宮支部長から資料に基づいて2005年Region 10 Meeting(3月30日 31日シンガポール開催)の報告があった。会議の内容はほぼ顔見せで後は会員増強セミナーであった。TENCON2010は日本で開く可能性があるので開催地を希望する人は申し出るようにとの要請があった。
3. 2005年支部活動状況及び会員数の報告(事務局、末次)(ExC-2005-2-4)
末次庶務幹事及び事務局から資料に基づいて、現在までの支部の会計状況、支部主催・共催・協賛等の研究会・講演会開催状況、及び会員数の報告があった。共催、協賛合わせて5回が実施および予定されている。10回を超えると追加ボーナスが出るのでさらに増やして欲しいとの意見があった。電気関係学会九州支部大会への協賛については以前から懸案事項であったが、分担金と人手の分担が心配なため見送られてきた。しかし、例年繰越金が出るので分担金については拠出できるとの意見に集約された。大会全体はセクションで共催しアジアセッションだけをチャプターレベルで共催する案が示された。予算については通常5月中に振り込まれるSection Rebateが未だ振り込まれていないので不明であるが、Meeting reportの遅れにより10%Bonusが今年はないと見込まれる。2005年5月15日現在で、Active会員の総計は616名であるとの説明があった。前年同時期と比べて会員数は微増であった。Seniorメンバーが少なすぎるという指摘があった。Seniorを増やせばRebateが増えるので各自身近な人に応募を呼びかけるよう要請された。
4. 理事会出席者の旅費規程(川根)
事務局案通り承認された。要点をまとめると、旅費の出発点、終点は市内等の代表的な駅やバスセンターとすること。JR2枚切符が設定されているところはJR2枚切符代とし、なければJR通常運賃、バス、航空運賃とすること。料金改定されたらそれに合わせること。
5. 福岡支部学生研究奨励賞について(庄山)(ExC-2005-2-5)

庄山Student Activities Committee Chairから資料に基づいて、2005年学生研究奨励賞の説明があり、募集案内・募集方法とスケジュールについて審議した。募集方法とスケジュールとも基本的にはこれまでのやり方を踏襲することにした。表記年度を2005にするべきか2006にするべきか議論となったが、過去の例では統一されていないことが判明し、既に発行した表彰状の記載内容を確認し、(支部長と庄山で)検討を加えた上で、結果を報告することになった。日本語では第何回という表記を使い英語では年表記を外すという案も出された。

6. カナダの Victoria Section との姉妹支部の締結計画(牧之内)(ExC-2005-2-6)
- 牧之内Chapter Operation Committee ChairよりIEEE Pacific Rim ConferenceというVictoriaで隔年開催されている国際会議(発表100名程度4並列セッション程度の規模)を、隔年で九州(Kyushu Island)とVictoria(Victoria Island)で開催しお互いの交流を深めるという構想が示された。九州で開催すればアジアからの参加が期待できる。早稲田大学の小柳 Membership Development Committee Chairが東京支部がボストン支部との姉妹協定を結んだときの関係者であるため、そのときの情報より、姉妹支部を締結するためには相手セクションとの合意を進め、両セクションより本部に提案し、提案はすぐにOKされ本部の仲介のもと合意文書を交換する儀式を行う。という手順であることがわかった。提案が認められるためには両セクションの合意とある程度のアクションプランがあればよいとの事である。今後掛下Computer Chapter Secretaryを派遣しVictoriaに交渉を進める。旅費はJapan Councilに支援申請する予定である。

6. その他(末次)

APチャプターの設置申請状況について報告

安元AP Chapter Chairより2月16日に本部に申請書を送付し、現在連絡待ちである。

IEEE Chapter Rebateの支部チャプターへの送金について

今年は10%Bonusがつかないと思われるので、Chapter rebate(各200ドル)のみを各チャプターに振り込むことにした。振り込み手数料は支部負担とする。

Section支援費申請予定について

例年通り学生研究奨励賞の一部負担金補助10万円と支部事務局運営費補助5万円を申請することにした。沖縄地区役員の旅費補助については旅費という題目以外でなければ申請できない。Victoria派遣の旅費については牧之内委員より申請することとした。

セクションWebページのJapan Councilサーバーへの移転検討

Japan Councilの独自ドメインはすでに取得しており、JCの独自サーバーが立ち上がっている。現在Chapterに利用の案内を送付中で、Sectionにはその後移行の準備が整い次第案内を開始する。メール配信システムも新しくなる。現在、福岡支部のホームページには理事会議事録が掲載されていないが掲載することとした。承認を早めるため

メール稟議を行う。

その他、新Chapterの設立、Student Branchの設立、他学会との連携

新Chapterの設立についてはAPチャプター以外は進展なし。Student Branchについても進展なし。他学会との連携についてはVictoria支部との連携、電気関係学会九州支部大会との連携を始める。

7. 次回の理事会について

次回理事会は1月下旬とした。

議事録作成：末次